

# chap11.現場の状況を目に見 えるようにする

**@chocopie116**

# テーマ

チーム(自分含む?) の見える化について

# 解決したいこと

関係者へのプロジェクト進行状況の説明コストが高く、致命的な状況に陥るまで共有が遅れてしまい、取りうる選択肢が少ない状況で意思決定をせざるを得なくなってしまう。

問: しんどい時に、どんなの説明が求められる？

# ある日...

- 開発プロジェクトに制約条件変更のお達し(納期・リソースの変更)
- 意思決定に必要な情報を共有し(実現可能性の共有)
- 必要な情報に基づいて意思決定ができた。(撤退)

# 本の中のtips

# ①プロジェクトメンバーが見える場所(例: オフィスの掲示物)に見える化しよう

- タスクの進行状況の見える化(やること、やってること, おわったこと)
- チームのタスク消化力と、推定されたタスクの完了目処(ベロシティと、バーンダウンチャート)
- チームで議論する時にたち戻れる合意された共通言語(インセプションデッキ)

## ②チームの大事にしていることを見える化しよう

- チームの約束
- 大事にすること

### ③プロジェクト関係者で同じ言葉を使おう

- 同じものを指してるのに人によって、違う言い方をしないようにする

ビジネスとシステム、開発者間の認識齟齬をなくして運用しやすいソフトウェアの設計・開発につながる。



# 雑談タイム

- [P]開始前]どんな共通言語があるとすすめやすい？
- [P]開始中]スケジュールの見える化において、意識的にやっていることって何がある？
- [P]開始後]スケジュールやばいなってどんなときに感じる？
- [P]開始後]スケジュールやばいなって感じた時に、どんなことしてる？